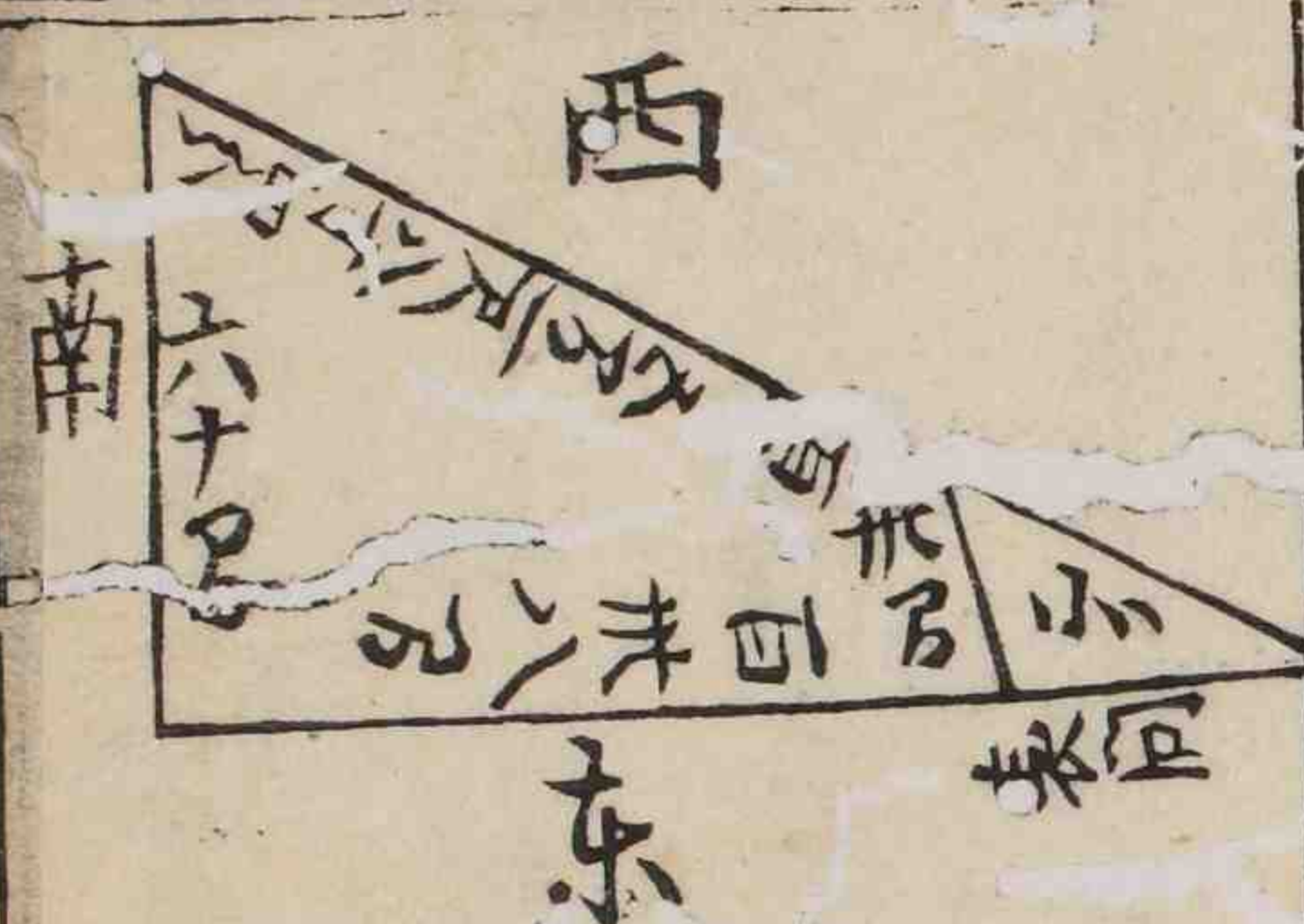


歩九六三八に三三二二ぬぬをひく右の
此方のぬぬ女ぬぬの一三三二四八二二六のぬ
川流して七百歩の〇〇二ぬ九四〇六八八九一を
海より割ぬぬぬぬ六〇ぬ二ぬぬぬぬ
右のぬぬ方の子ぬぬ女ぬぬ歩ぬぬぬぬぬ
百四十五百七十八ぬぬぬ割百〇七五
八六ぬぬぬぬぬぬぬ二万子の百八
十八歩九六二七〇三六ぬぬ二万ぬぬぬぬ

ぬぬぬ右の女ぬぬぬぬ〇ぬ二ぬぬぬ加
て九十万〇七七二ぬ二ぬぬぬぬぬぬぬ
一子ぬぬぬ十九歩の六ぬ一二九四八七
ぬぬ二ぬぬぬぬぬぬ〇七万八六六のぬ
右四つ九七二六五を六百四十五のぬ
百四十九〇ぬ二ぬぬぬぬを川流
百ぬぬ二万二二九ぬぬぬぬぬ一
ぬぬぬぬぬ七歩の六九二ぬ七四六ぬぬ二ぬぬ
ぬぬぬの八子ぬぬぬ九歩の六ぬ一二九四八

七又六二を加て去方八千六百八十七步の三
 九二六の九にて八二一を去ると右
 〇又六二又去り二三二四八三二六の内を六
 減くふ六百三十七步七八七三七八七三
 二又六二を去くと右六百廿又去り
 加て七千四百六十二步七八〇三七八七三三
 又六二を去ると右七十五万を去ると右割て又
 又六二を去ると右割八四十九万七千二百八十九
 二四六の九の三十一万七千七百七十三を
 又六二又去り二三二四八三二六の内を六
 減くふ六百三十七步七八七三七八七三
 一八千八百〇四九百八十七七九二八四一は
 を開きりしつ百三十四万を去ると右九八八
 又十九万七千二百八十九へひつ減り百廿又去り
 としつて六百八十八步九八三二六二又六
 九二六の九にて八二一を去ると右割
 又六二又去り二三二四八三二六の内を六
 減くふ六百三十七步七八七三七八七三
 一八千八百七十一は是則開きの水に



左より右へおどけて廿八歩に二寸
 六分三厘ありしをくわの地を移敷と知
 りて右に廿六歩に八九分をとりて
 二より右に十歩七〇八分六厘ありし
 一より右に十歩七〇八分六厘ありし
 右に十七歩七〇八分六厘ありしを
 割り百三十三歩二九分六厘ありしと
 百五十七歩七〇八分六厘ありしと
 四より右に十歩七〇八分六厘ありし

右に歩ハハに七九に七と毎歩を割り
 六右九三三ありしを右に一〇二六と
 して
 六百六十六歩〇八分六厘ありしを
 右に三〇三とつけて
 七百九十六歩〇八分六厘ありし

けをまのうを毎歩に切に卅右切
 てを三百ありしを右に一〇二六と
 して
 七百九十六歩〇八分六厘ありしを
 右に三〇三とつけて
 七百九十六歩〇八分六厘ありし

答曰

東表は六十歩

一坪の付合を方寸朱を垂多八二〇歩

法四百三十八歩より系して一万九千〇

四十一歩又六十歩より系して二二〇六

百五十二歩八分六厘六微六纤六沙六塵六渺六漠六

海平と割百五十九〇四七九をよびく

右より万九千〇四十四歩と割百廿

六歩又八歩をよびく一歩をよびく

と子の六七歩六三〇二八六三六を

兩平と割百五十九〇六六をよび

百廿又百一尺八寸四分と割百廿

又百廿と割百廿又百二八三をよび

と割百廿又百一尺八寸四分と割百

歩の八三〇〇八九をよびく二二〇六

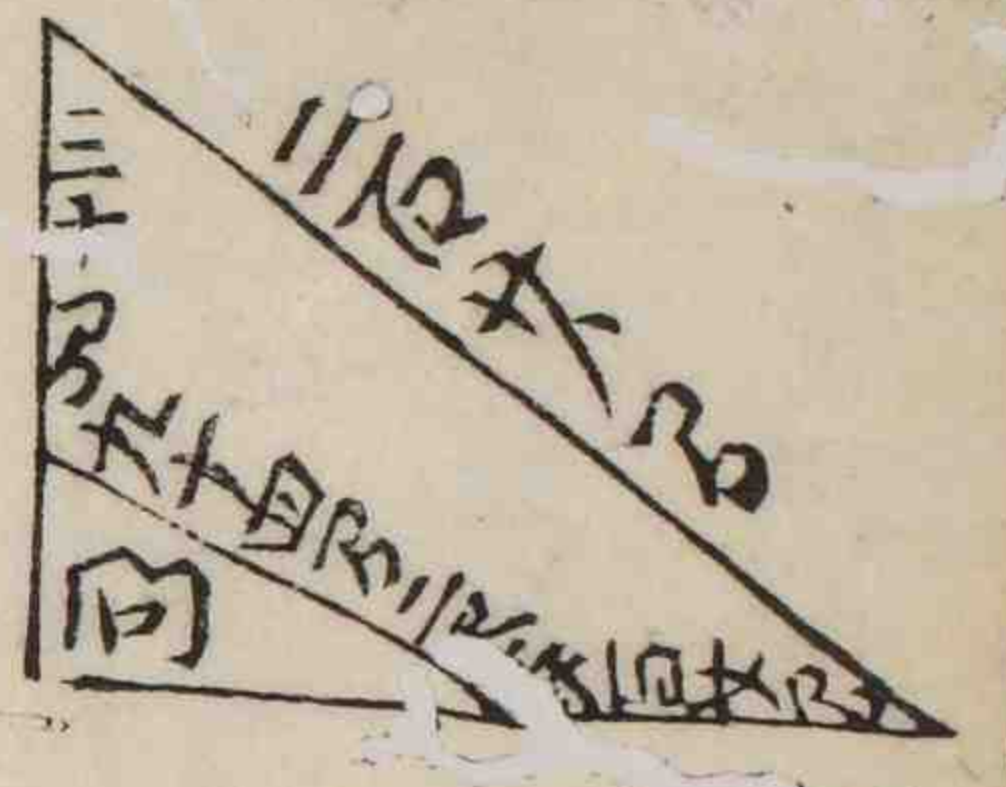
九百歩と百十歩のより系と子六百歩

と百三十八歩のより系を万九千〇

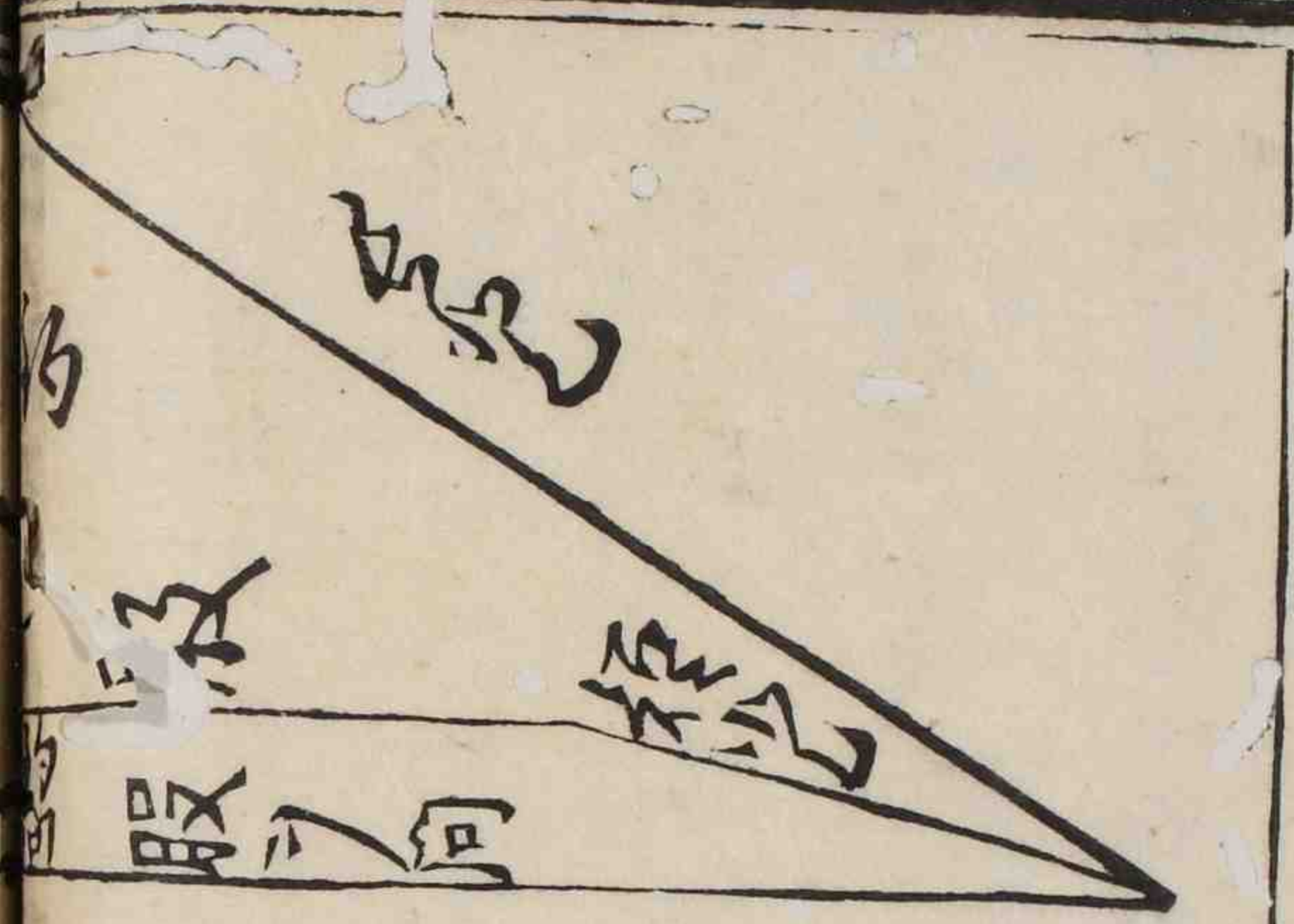
四百と二百と七十と五と一と
の内たれを方みよ六百九十五歩八三〇
〇八九と一八と七と八四十八歩一六
九九二をと沙うと刻こし九百廿四歩〇
八四九ぬぬぬと右百ぬぬぬぬぬと
とぬく刻廿六万〇七七三ぬぬぬと
りぬぬぬぬぬぬぬ〇〇二ぬぬぬぬ二
九ぬぬと十万の自糸九百歩の内川
右のぬぬぬ〇二三九〇六と加く六十
九万八ぬぬぬぬぬぬとぬぬぬぬぬ
八百七十九歩の七八三三三ぬぬぬぬぬ
とぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬの内廿六万
〇七七三と一八と七と八四十八ぬぬぬぬ
ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
九二八九六二二ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
九歩の七八三三とぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

一と家十一とあ子九三三十七八歩四三〇三六
九三〇のあ十二万と一リとあ一とこ子八百は
十は歩のあ一と十万と一リと家一と九百
歩のと右と子八百は歩の四川は
ハ子九百は十は歩へ右のあ子九百七十
八歩は三〇三六九をわくくはあをわくく
別は子九百は十一上の二二八はあ
と右の八十と一かあ三十七とわくく別

八百は歩の四川は三首十六歩九は
六六七九とあを平と別ナセる八〇三は
と八十三万ぬ三七とわくくは子は百八十
七と二〇九二二とわくく別七は百十
三上のあ〇はあ〇ぬぬはとわくく全三首
あは別は〇三ははあはとわくくはて全
と方六一三十七六又と下へはとわくく二
は四五六〇四又下へはとわくく二方三集八二共



は法を以て思ふ



今小段の地所分のとく小段
 地所分の時長を以てする程
 地所分股する約廿八歩を
 けりし出の地所の約何
 ほどを股何歩と云ふ事

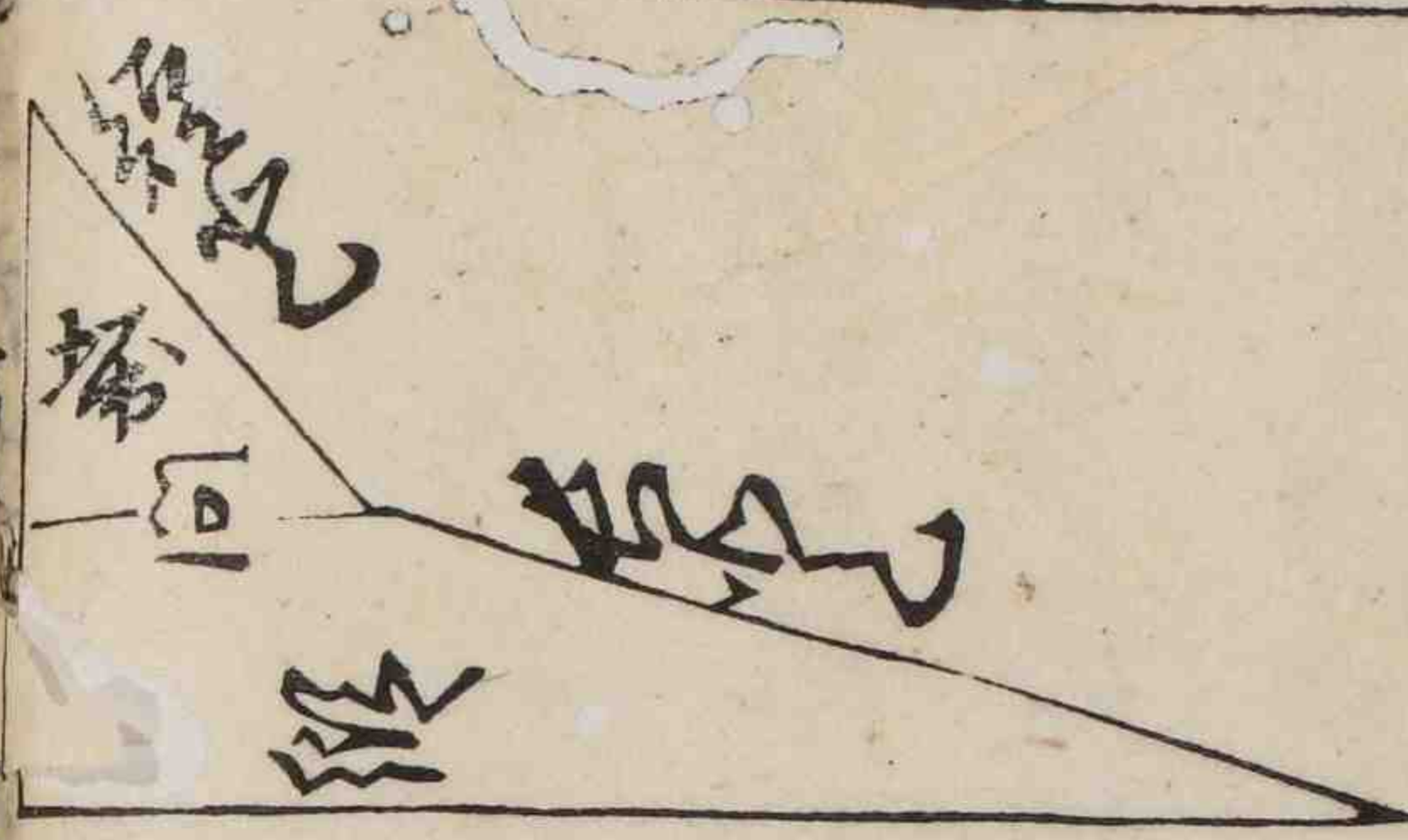
善田給出之地約廿八〇二九六
 歩の山段早二歩七二四六九

法曰廿八歩を以て一
 歩を以て一歩と云ふ事
 一〇〇九歩のけりし出の
 地所分約六〇九歩を以て
 一歩を以て一歩と云ふ事
 一〇〇九歩のけりし出の
 地所分約六〇九歩を以て
 一歩を以て一歩と云ふ事
 一〇〇九歩のけりし出の
 地所分約六〇九歩を以て
 一歩を以て一歩と云ふ事

百の九十九をくりし一にて九百六十六
歩又六十一歩さくくも〇〇九歩と用平に
別前と十二百七十四とぬきとく右の
四十歩の百一と割一なるこも一と
是しなす一歩せ八二四八二〇一と
気程四十歩より一一の内川ある四十歩
の六二九四七九九を毎歩と割六なるこ
七四一とく右の百廿又歩と三十
〇とみぬぬとぬきを右の百廿又歩に
内川ある百七十四歩八二六二七九に四に
はとそと毎歩と割十三なる二二二二
も右の六万三と四と知く十九万九
六とぬきとく一と三三三八十歩
〇に九と六九とさく右の七万〇八三
と四の右のきつと二二二とりぬき
も万七千八二二と一と三十三

歩の〇四二九四二八七六六〇七〇右の二五八
 十の歩の〇二四九七三六九を加へて百十七歩
 〇八七一〇七八〇八七五六〇七〇七〇右の九
 百七歩の歩を八八二の月日抄に五〇四
 九歩を三〇九三二一九一三五六へ右の七
 十の歩を加へて百〇七歩の百六十四歩
 七六〇四六〇九五六七八〇七〇七〇七〇
 を〇七〇割廿三〇〇八二〇〇〇〇〇〇〇〇
 三十八〇二九六〇七〇七〇七〇七〇七〇
 十〇〇二九六〇七〇七〇七〇七〇七〇七〇
 三十八〇二九六〇七〇七〇七〇七〇七〇
 六歩を八三〇七〇七〇七〇七〇七〇七〇
 子も百歩の月日抄に五〇四
 一〇八〇七〇七〇七〇七〇七〇七〇七〇
 是則の換算の股ありさへ三十二〇四
 六七〇へ右の七歩十〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

うふ割一廿三及み七三二七五及女こし
ナカ〇二九及とくけて小百回十ホ上七を
一にホホを統一の歩敷あり



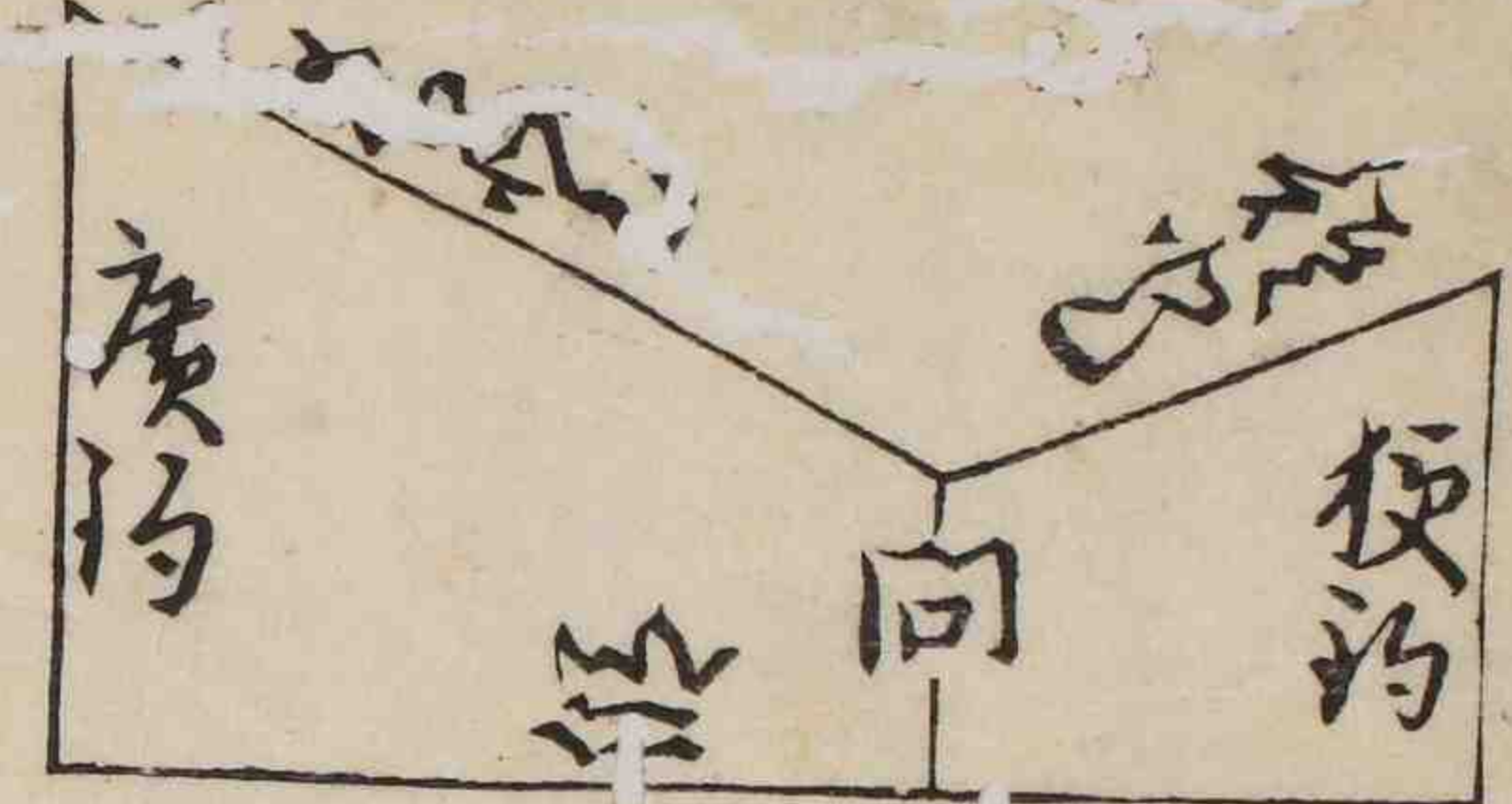
今家村とくの無要級軍手
横三十四及もやと四ノ男 縦一
九ノ五け縦一〇のつがり切
小縦一〇の方をほりこき去りて
残る地敷とスハナシ地中を堀

答曰
堀たのこのまらること九リ四を
堀の深さ廿二方一ふわり八毛八系

法四三ナラとよりさして九百歩の四ナリ
とくして五と六百歩の右二口ハよみ
百歩の七と五ナリ割みナリとさく右
よ六百歩とみナリ割三ナリハアヌ
さく一とふ〇廿四歩と右のふ
が百歩の百ハあくとみ百七ナリ歩と閑

平と割 廿四万歩をささく九万のりよ八
 十一歩又廿四万とりよ十一万とて子九百三
 十六歩をささく右がみ百五十八十一歩を
 加く一萬とりの子九百三十六歩りあて
 廿百四十八歩をささくとわうと割三右女
 二歩のみをささみ十方あく割六万にみ
 七とりのりよして四十一歩六〇二五歩を
 八十一歩のりあて三十九歩三九七歩を
 加して九百十六歩をささく九八〇二七歩
 をささく三十九歩のりあてみをりあて
 六万歩をささくして六万歩十二歩の
 六〇二歩をささく右九百十六歩六八〇九八歩
 二七六歩を加く子み百六十九歩四八〇四
 八歩。二七六歩をささく右の子九百
 六十九歩のりあて三万六千六百六十八
 歩一四九七二歩をささく右の九百歩を加く

ふひ百六十九歩又二六又二四六二四と
とするを割り四十九は二七二七と
とするを割り二六二〇は二七二七と
一して四十九は二七二七と
九十九歩〇四二七〇〇と
十八百六〇六と
減て一〇九と
七六九三ハハは
方の六八と
の八百七十三歩七六九三ハハは
とするを割り二六二〇は二七二七と
の四六二〇ハハは
右の一〇九と
とするを割り二六二〇は二七二七と
三〇八二六と
割場の原は二六二〇ハハ



又右曰拾伍十ハる二二三

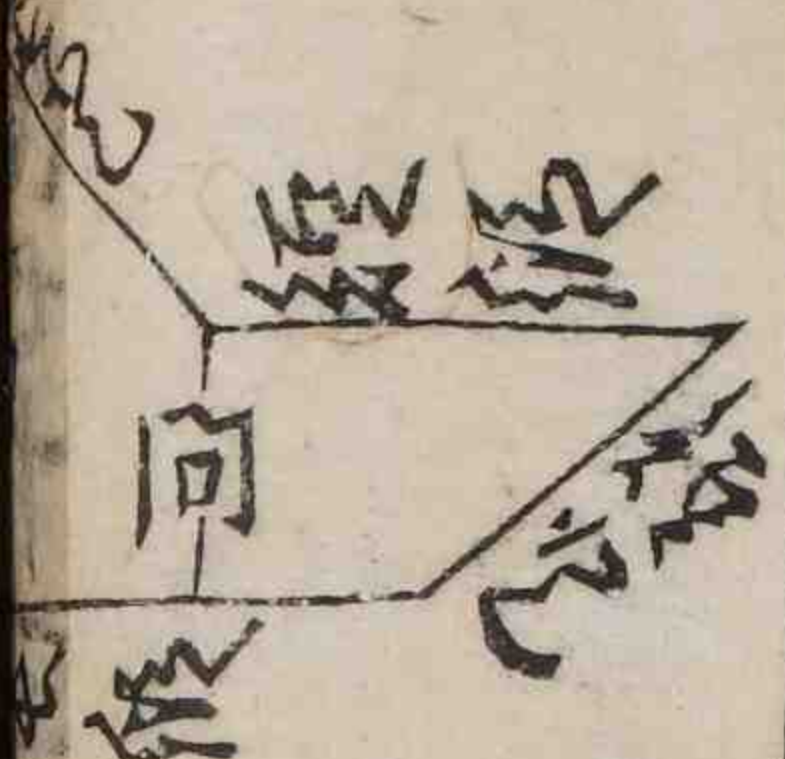
法曰四十六万の内三十一万リある十五万と
 一十万と一十方女六歩六十四万なる

みぬををさくさく公曰四十四歩の女別
 六十四万〇二六二女をさくさく一してこ
 六百二十十一歩の女〇八六四の女をさくさ
 百の十歩の内川ありか百十歩の女
 二二女六女をさくさく一十歩の女
 一〇女六女をさくさく一十歩の女
 十六歩の女十歩の女
 子〇八十歩の二女は右の六百七十六歩

九歩を加しく少う割二子百三十六
 歩六二又女を右の六十三る七八と
 割ぬする。せに女を少う割
 かよみ百七十四歩又四十六女を右
 二子の八十歩の二又の内川あり六百五
 歩七。二四と母年と割廿二万四七八
 ちる。せよ右の十四る又七七を加しく三十
 二六二の内みする。七四をりある九万八
 二二を少う割九十九歩の六万八八八
 せよ右のよ三百七十三歩七九九三九九。加
 へ加しく子は百七十四歩の六七八八三。加
 せよを三子の八十歩。二又の内川あり
 六百七十五歩七八二七。一六九六。せよ三子八
 百四十四歩を加しく少う割か子七百
 廿九歩八九一。み八八八。女を少と六十二る

六批

をゆく割四十四万〇三〇又女是と自
 身より子九百三十八歩六八四九三〇二又女
 是と右の三子〇八十歩〇二又の四子孫は子
 百四十一歩八六八〇六九七又是と母年又
 割三十三万七八七又是と母年六万九千
 餘て十二万二三是同前此招縁一と



長段四十一万續縁亦二万また是
 女六万續縁亦十二万また是亦

法曰四十一万の四女は右のまを以て八
 万また是を以て九万六千を
 又女三十一万を以て九万六千を
 歩の右二は右子〇三十三歩二又是を
 母年と割三十歩右二は女是を以
 七十歩止の二又を割二万二四七六又
 是と右の七十七歩二又の四子孫は
 是と右の七十歩二又の四子孫は

ち千七百一九八二九四の四と毎年して
 八百一九七四六と毎年して千六百と自
 家して百六十歩二又是より右の子
 ○三ナと歩二と加くは百八十九止の
 け内廿六の十と家六百七十六歩を
 川と歩又百十三歩又と加くは割は百又
 十六歩七又と加くは三十二の百と割
 七の九八と加くは百と加くは百と加く
 九百六二又四九と加くは右の八百一九七四六
 を加て千七百八二九四と加くは
 一と千三百七十七と加くは三〇一と千七百七〇二と加
 右の七の九八七の四二の百二と七六と川
 と加くは百七と九四と加くは百と加くは百と
 二の九四〇七二と加くは右の三百七十七
 三〇二八七と加くは百と加くは百と加くは百と
 九と加くは右の九百六十一歩と加くは千

五十一
 五十一

三百十一歩の二は一九はは右の六百七十六
歩と川をゆくと刻三百十七歩六分
〇九はは右を右の三十一万刻十方〇
二はは八はは則好ありはは

音の女抄巻之二同録

第廿七の紙横曲道

第廿八系長知

第廿九同紙書に

第卅十同筆刷

第卅十一俣利抄紙書

第卅十二方紙

第卅十三方紙

第卅四に字みの内甚

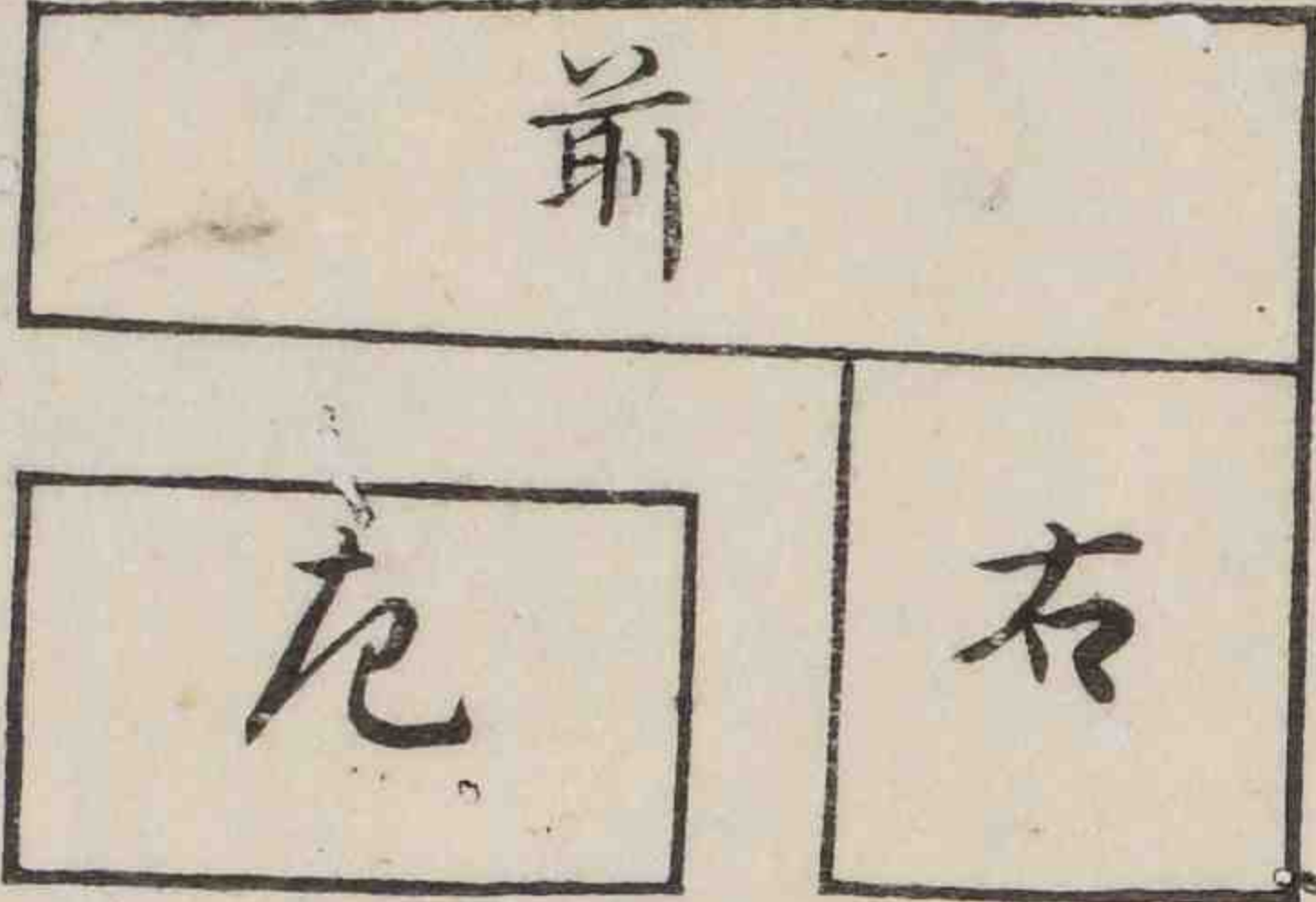
第卅五の字七四十八に十九み十又土櫃紙

第卅六又十三又十四み十六名子幅紙

第卅七遠紙 第卅十八名子幅紙

第百二十九卷之節級軍之法

此法關類抄百好之答



今級百る横七なるの屋敷と
三人にけつス付るのよか
まのよかを答に坪敷ハ
ふにハ道坪ハ一人のまに
すにハてぬくけるる幅同

答曰
前屋敷級百る横サる
左右各級百る横サる
幅サる

七卅

